

林羅山の像

林羅山（1583 年-1657 年）は下呂（岐阜県）、有馬（兵庫県）、草津（群馬県）といった日本の有名な温泉街の影響のある支援者でした。下呂の中心部、下呂温泉神社の向かいにある白鷺橋にこの儒学者の像があります。流れるような外衣を着た林が 3 匹の猿に囲まれている様子が生き生きと表現されています。

林は、徳川家康（1543 年-1616 年）をはじめとする何代もの将軍の下で徳川幕府に仕えました。彼は哲学論文や旅行記などの影響力のある著作を残した信頼できる侍講でした。林が下呂、有馬、草津を「天下の三大温泉街」と指定したことが、それらの温泉の人気の理由のひとつとしてよく挙げられます。

この像は、下呂を訪れる年間 150 万人以上の観光客を記念して 1992 年に建立されましたが、その数年前にはこの数字を超えていました。除幕式には林羅山の直系子孫である林知雄氏が招待されました。現在、この像は下呂が旅行先として長く人気を保ってきたことの象徴となっています。毎年 8 月初旬に開催される温泉感謝祭は、林羅山と下呂市観光交流センター近くに像が建てられている 15 世紀の歌人で禅僧の万里集九に敬意を表しています。